報道資料

令和 4 年 5 月 26 日
月ヶ瀬行政センター
電話 0743-92-0131

月ヶ瀬・住民交流＆地域課題解決型ワーケーションの拠点『ONOONO（おのおの)』

6,974 ㎡の『ONOONO の広場を創ろう！プロジェクト』

キックオフ住民ワークショップに約 60 名が参加

奈良市は、令和 4 年 3 月 10 日にオープンしたワーケーション施設の正式名称を、『ONOONO（おのおの)』と決定したことを記念して 5 月 21 日お披露目会と、施設を含め 6,974 ㎡ある広大なグラウンドを、住民みんなのアイデアでワクワクする広場として生まれ変わらせる“**ONOONO の広場を創ろう！プロジェクト**”のキックオフワークショップを開催しました。当日は 59 名の住民にお集まり頂き、ワークシートに記入する形で多くのアイデアをお寄せ頂きました。※奈良・月ヶ瀬 住民交流＆地域課題解決型ワーケーション拠点の正式名称が『ONOONO（おのおの)』に決定！（令和 4 年 5 月 10 日発表）https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000176.000036429.html

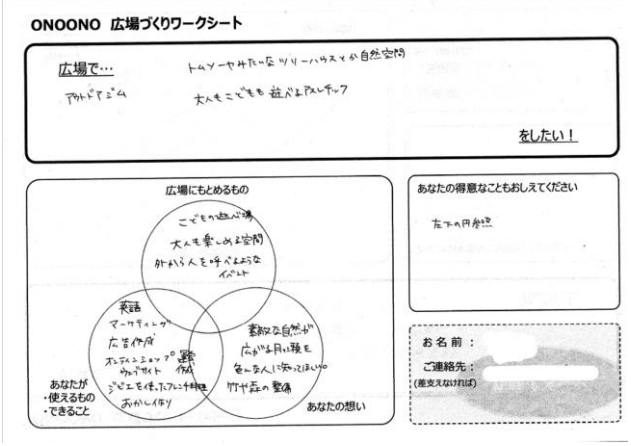
当日は、施設ロゴに ONOONO の表情を描くワークショップ／道路でチョークお絵描き／生地から作る薪ストーブで ONOONO のピザを焼こう体験／などを開催。月ヶ瀬住民に持ち寄っていただいた鹿肉やタケノコも集まった皆でいただき交流を楽しみました。

ワークショップ時には仲川げん市長も来館し、地域づくりの拠点としてさらに自由な活用が進んでいくことへの期待を表明。

『ONOONO』は地域、自治体、企業、団体、個人が協働し、「一人だけでは」出来なかったことを実現する場です。今後は、発案した地域住民たちが自らプロジェクトを推進できるように地域おこし協力隊らが伴走いたします。

ワークショップは 5 月 26 日（木）10：00－12：00 にも開催します。

施設利用者も 2 カ月半を経て 404 人（25 日現在・延べ人数）となりました。今後も住民や地域、企業、団体を巻き込んだ活用により、地域の活性化を図ってまいります。



●施設運営実績

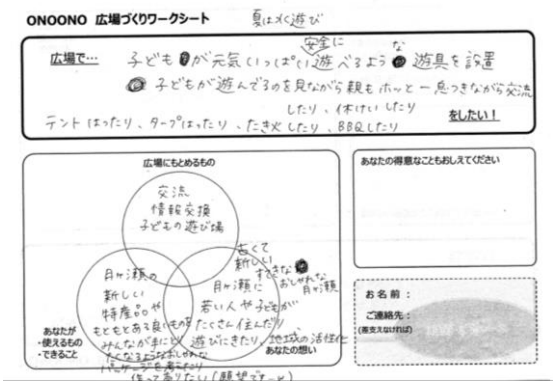
外部のワーケーション利用はもちろん、地域の方々にも個人・団体共に交流拠点として利用いただいています。

利用者人数	404 人（5 月 25 日現在／延べ人数）
地域の利用内容	地域団体の会合・ワークショック（ヨガ、コーラス練習、お絵描き教室等）、お子様連れのお母さま方の憩いの場、学生の勉強の場　など
主催イベント	『Tsukigase 本音トーク CAFÉ』計 8 回開催 地域の方との語らいの機会を設け、施設の利用方法等のご要望などを伺う 『ONOONO の広場を創ろう！プロジェクト』キックオフワークショップ 5 月 21 日、26 日開催。以降アイデア実現に向けてスタッフが伴走
その他トピック	地域の図書室『ONOONO 図書室』・寄贈図書による書籍の貸出開始 地域住民の方より 200 冊を超える書籍を寄贈いただく ご要望により 4 月 27 日より地域の図書室として貸出開始

●5 月 21 日ワークショップ内容

当日は、地域住民を巻き込んだ取り組みで定評がある株式会社 On-Co に、「みんなで公園」「音楽の日」など市民が自分たちのやりたいことを、自分たちの力で実現させていく企画をご紹介いただき、ワークシートに自分の実現したいこと／自分ができること等／想い等を記入頂きました。https://on-co.jp/service/everyone-park/

15 名の方から、大人も子供も遊べるアスレチック／花畑迷路／手作りマルシェ／水族館／茶室など　みんなが集い楽しめる場を求めるアイデアが集まりました。



●施設名 ONOONO に込めた想い

おのおのが、持っている資源や能力を持ち寄る場所

おのおのが、実現したいことを叶える場所

おのおのが、これからの地域づくりの主体になる場所

●ロゴマーク

TSUKIGASE WORKATION ROOM
ONOONO

TSUKIGASE WORKATION ROOM
ONOONO

●ワークショップ当日の様子